

平成18年度概算要求（施設整備費以外）に当たっての基本方針

京都大学の基本姿勢は、自由の学風を継承・発展させつつ多元的な課題の解決に挑戦し、地球社会の調和ある共存に貢献するという基本理念と長期目標のもと、地域社会の知識・文化の拠点としての役割を担いながら「京都大学らしさ」を追求すると共に、京都大学の中期目標・中期計画（文部科学省提出版）に挙げられている目標・計画の達成に向け、国際競争力のある人材を養成しながら学術研究の推進に資することにある。

一方、国立大学の法人化の流れの中で、これまでの大学観にとらわれない新たな教育研究を通じた人材の育成や科学技術への取組がこれまで以上に高まっている。

このような状況での平成18年度概算要求をより優位に展開するには、高等教育・学術研究を取り巻く国内外の情勢を考慮しつつ、京都大学としてその発展に資すべき真に重要な教育・研究課題を見定めた要求を行う必要がある。

そのためには、大学として戦略的に事項を絞り込み、要求の力点を集中させることが必須であり、下記の基準により要求事項を精選するものとする。

1 実施責任、実現可能性

- (1) 京都大学の特色やこれまでの実績を十分に踏まえ、本学でこそ、その構想が実現できるような事業であること
- (2) 事業毎に進捗状況の評価が行われることを踏まえ、当該部局において責任を持ち、継続的・計画的に当該事業を実施することが可能であると見込まれる事業であること
- (3) 複数の部局による事業の場合、学内の関係部局と十分な調整を行った上で要求を行うものであり、当該事項の実施により京都大学全体、若しくは関連部局全体における教育研究の充実に資することが見込まれる事業であること

2 教育研究組織の充実・強化

- (1) 豊かな教養と人間性を備えると共に責任を重んじ、地球社会の調和ある共存に貢献し得る、優れた研究能力や高度の専門知識を持つ人材の育成に資する事業であること
- (2) 学部・研究科の学生定員の変更を伴う事項については、入学者の確保及び修了者への社会的・学術的需要が継続的に見込まれるとともに、適切な学生規模であること
- (3) 専門職大学院については「京都大学における専門職大学院の在り方について」（平成16年12月20日企画委員会答申）を十分に踏まえた内容となっている事業であること

3 国際的教育研究拠点の形成

- (1) 高度に先端的若しくは学術的な要請が特に強い研究領域であって、その分野における研究を京都大学が先導しており、当該事業の実施により当該研究領域における国際的な研究の発展に資すると見込まれる事業であること
- (2) 社会的な要請が特に強い諸課題の解決のために、これまでの実績を踏まえつつ、京都大学が先導して研究を推進していく事業であること

4 国の教育研究政策及び科学技術・学術政策への対応

- (1) 科学技術基本計画（及びそれに伴う国の実施方針等）における重点領域に対応する事業であること
- (2) 中央教育審議会大学分科会の答申や科学技術・学術審議会学術分科会の答申等において提言されている教育研究や科学技術・学術に関する我が国の施策等に対応する事業であること

5 地域・他大学等との連携機能の強化

- (1) 我が国の教育研究及び科学技術・学術研究の発展に資することが見込まれる事業であり、他の大学、研究所等との十分な調整を行った上での要求であること
- (2) 京都という立地条件を生かし、京都府・京都市等の地域の活性化に資することが見込まれる事業であり、関係機関等と十分な調整を行った上での要求であること

6 その他

- (1) 拠点となるべき組織としての機能設計（協力体制、情報発信など）が十分に整理されており、関連する学術研究コミュニティからの要請を踏まえている事業【拠点形成】
- (2) コストシェアの考え方に基づく要求となっており、計画期間内における継続的な連携が見込まれる事業【連携融合】
- (3) 設備の更新における計画性及び関連する教育研究内容との整合性が担保されている事業【特別支援】
- (4) 当該医療機器の整備に伴う患者サービス及び医療の質の向上が見込まれる事業【特別支援（医療機器整備関連）】

平成18年度概算要求(施設関連)事項の選定に当たっての基本方針

国立大学は、法人化により、大学運営の活性化とともに個性豊かな大学づくりを求められている。京都大学は「自由の学風を継承し、発展させつつ、多元的な課題の解決に挑戦し、地域社会の調和ある共存に貢献する」という基本理念のもと策定された「中期目標・中期計画」の達成に向けて、教育・研究活動の基盤となる施設を、その目的に即した形で計画的に整備を図らなければならない。

よって、施設整備費(営繕を除く)の要求事項については、下記の4点の基本方針に基づき、要求事項を選定するものである。

○新キャンパス(桂)の整備に関する事項

平成11年9月新キャンパス委員会・建築委員会です承された京都大学のキャンパス構想である「エクセレントユニバーシティ」に相応する教育・研究基盤とキャンパス環境を整えるため、桂キャンパスの整備を推進する。

○吉田本部構内の再配置に関する事項

平成14年3月新キャンパス委員会・建築委員会決定された「吉田本部構内の再配置計画」に基づき、桂キャンパスの整備の進捗により整備可能となった施設について、「エクセレントユニバーシティ」に相応する教育・研究基盤とキャンパス環境を整えるため、再配置計画を推進する。

○文部科学省が策定する次期施設整備計画に沿った事項

平成17年度までは、第2期科学技術基本計画を受け、文部科学省により策定された「国立大学等施設緊急整備5か年計画」(13年度～17年度)に基づき施設整備が進められてきた、平成18年度からは現在策定中である「次期施設整備計画」の動向を見据え、政策に沿った整備を推進する。

○大学として特に戦略的に取り組むこととされた事項

教育研究の新たな組織や機能の確保などから大学として必要とする施設については、特に戦略的に取り組むこととされた事項として推進する。

平成18年度 概算要求事項一覧

| 区 分 | 部 局 名 | 事 項 (事 業) 名 | 備 考 |
|-------------------|--|---|-----|
| 教育改革 | 法 学 研 究 科 経 済 学 研 究 科 | 公共的業務に携わる高度専門職業人の養成に係る実践的 高度教育プロジェクト | |
| | 経 済 学 研 究 科 工 学 研 究 科 | 専門職大学院経営管理教育部の設置に伴う次世代教育 プログラムの開発 | |
| | 医 学 研 究 科 | 医学研究科キャリア形成プロジェクト - 大学院コース ワーク導入と実効性のある教育体制の構築 - | |
| | 薬 学 研 究 科 | 薬学フロンティア教育プログラム開発 | |
| | 工 学 研 究 科 理 学 研 究 科 共 通 教 育 推 進 部 | 自ら工夫して体験する理科実験教育システム | |
| | 国 際 交 流 推 進 機 構 | 海外フィールド教育プログラム - 「21世紀のアジアを 知る」 - | |
| 研究推進 戦略的研究推進経費 | 霊 長 類 研 究 所 | リサーチ・リソース・ステーション (RRS) - 環境共存型 飼育施設による新たな研究用霊長類創出プロジェクト - | |
| | 工 学 研 究 科 | 桂キャンパスにおける研究・教育活動の環境負荷の低減 化事業 | 継続 |
| | 化 学 研 究 所 | 超臨界二酸化炭素ナノポーラスエラストマー創製事業 | 継続 |
| | 再 生 医 学 研 究 所 | 再生医科学研究所附属幹細胞医学研究センターにおけ る、新たなES細胞 (臨床応用用ES細胞) 樹立のプロ ジェクト研究 | 継続 |
| 研究推進 大学間連携経費 | 医 学 研 究 科 薬 学 研 究 科 工 学 研 究 科 | 医薬工融合型生体イメージング事業 | |
| | 理 学 研 究 科 | 大学間連携による先端的天文学の共同拠点形成事業 - 3m級新技術望遠鏡の共同建設及び運用 - | |
| | 化 学 研 究 所 | ケミカルゲノム研究アライアンス | |
| | 再 生 医 学 研 究 所 | 幹細胞の臨床応用を目指す基盤研究と治療研究 - 幹細胞 の臨床応用を目指した組織幹細胞と免疫寛容制御研究 - | |
| | 学 術 情 報 メ デ ィ ア セ ン タ ー | 大学間連携のための全国共同電子認証基盤構築事業 | |
| | 化 学 研 究 所 | 物質合成研究拠点機関連携事業 (名古屋大学, 九州大学) | 継続 |
| | 防 災 研 究 所 | 地震火山噴火予知計画研究事業 | 継続 |
| | ウ イ ル ス 研 究 所 | 新興・再興ウイルス感染克服研究連携事業 | 継続 |
| 研究推進 研究組織の整備 | 東 南 ア ジ ア 研 究 所 ア ジ ア ・ ア フ リ カ 地 域 研 究 研 究 科 | 地域研究統合情報センターの設置 | |

| 区 分 | 部 局 名 | 事 項 (事 業) 名 | 備 考 |
|---------------------------|--------------------------|--|-----|
| 研究推進 新医療技術等研究・ 開発経費 | 医 学 部 附 属 病 院 | バイオ新薬創生による新医療開発促進プロジェクト | |
| 拠点形成 | 生 存 圏 研 究 所 | 持続的生存圏創成プロジェクト | |
| | 防 災 研 究 所 地 球 環 境 学 堂 | 防災に関する研究連携群事業 | |
| | 基 礎 物 理 学 研 究 所 | 理論物理学国際共同利用研究拠点の形成 | |
| | 数 理 解 析 研 究 所 | 数学学術情報拠点の形成 | |
| | 生 存 圏 研 究 所 | 生存圏科学ミッションの全国・国際共同利用研究拠点形成 | 継続 |
| | 防 災 研 究 所 | 災害に関する学理と防災の総合的対策のための研究推進事業 | 継続 |
| | 基 礎 物 理 学 研 究 所 | 基礎物理学分野横断型全国共同研究 | 継続 |
| | 数 理 解 析 研 究 所 | 無限解析共同研究 | 継続 |
| | 原 子 炉 実 験 所 | 原子力科学の先導的な応用分野の開拓 | 継続 |
| | 霊 長 類 研 究 所 | 霊長類の生物学的特性の学際的研究 | 継続 |
| | 放 射 線 生 物 研 究 セ ン タ ー | 放射線生物学研究の推進拠点 | 継続 |
| 生 態 学 研 究 セ ン タ ー | 生態学における共同研究 | 継続 | |
| 連携融合事業 | 化 学 研 究 所 | 局所電子構造の理解に基づく物質科学の新展開 ー物質科学基礎研究推進のための基幹的連携研究体制の構築ー | |
| | エ ン ー ー 工 学 研 究 所 | 日韓エネルギービーム利用連携融合研究事業 | |
| | 放 射 線 生 物 研 究 セ ン タ ー | 環境変動に対する生物応答の国際連携研究 | |
| | 新 セ ン タ ー | こころの未来に関する研究事業 ーこころの未来研究センターの設置ー | |
| | 医 学 研 究 科 | ポストゲノム研究の国際共同研究事業 | 継続 |
| | 経 済 研 究 所 | 先端政策分析連携推進機構の設置 | 継続 |

| 区 分 | 部 局 名 | 事 項 (事 業) 名 | 備 考 |
|----------------------|-------------------------------------|---|-----|
| 特別支援事業 情報等の保存・収集 | 文 学 研 究 科 附 属 図 書 館 総 合 博 物 館 | 貴重古典籍・古文書の修復 | |
| | 医 学 研 究 科 | ポストゲノム研究のためのヒト胎児の形態発生およびゲノム発現の包括的データベース | |
| 特別支援事業 教育研究高度化設備等 | 工 学 研 究 科 | イオンビーム照射実験設備 | |
| | 再 生 医 科 学 研 究 所 | 多光子レーザー顕微鏡装置 | |
| | フールド科学教育研究センター | 海洋調査研究実習船 | |
| | 学術情報メディアセンター | 高品位遠隔講義・会議・生態観測システム | |
| 特別支援事業 医療機械設備 | 医 学 部 附 属 病 院 | 患者給食設備 | |
| 大学院・学部組織 整備計画 | 法 学 研 究 科 経 済 学 研 究 科 | 公共政策専門職大学院の設置 | |
| | 経 済 学 研 究 科 工 学 研 究 科 | 経営管理専門職大学院の設置 | |
| | 薬 学 研 究 科 | 薬剤師教育6年制移行に伴う薬学部学科の再編成 | |
| 既設教育組織に係る 学年進行 | 医 学 部 等 | 保健学科の整備等（学年進行） | 継続 |
| 合 計 | | 49 件 | |
| [内 訳 | | 新規 32 件 継続 17 件] | |

平成18年度 概算要求事項(施設整備関係)一覽

【施設整備事業】

| 部局名 | 部局要求名称 | 事項名 |
|-------------------------------------|---|---------------------------|
| 教育学研究科 | 工学部石油化学科研究室(9号館)改修 | (中央)総合研究棟改修(工学部4号館他) |
| 法学研究科 | 公共政策大学院設置に伴う既存建物の改修(4号館) | |
| 経済学研究科 | 工学部4号館改修 | |
| アジア・アフリカ地域研究研究科 | 工学部4号館改修 | |
| 人文科学研究所 | 人文科学研究所の移転に伴う工学部5号館の大型改修工事 | |
| 経済研究所 | 石油化学研究室建物整備・改修 | |
| 学術情報メディアセンター | 工学部旧建築系(7号館)改修 | |
| 低温物質科学研究センター | 総合研究棟改修(工学部7号館) | |
| 理学研究科 | 総合研究棟改修(数学・物理系) | (北部)総合研究棟改修(数学・物理系) |
| 医学研究科 | 医学図書館の耐震改修・増築 | (南部)メディア集合系整備(医・図書館等) |
| 医学研究科 | 医学部保健学科校舎増築 | (南部)総合研究棟(医学部保健学科) |
| 医学部附属病院 | 総合高度先端医療病棟新営 | (医病)総合高度先端医療病棟(軸I) |
| 薬学研究科 | (南部)総合研究棟改修(薬学部本館等) | (南部)総合研究棟改修(薬学部本館等) |
| 工学研究科 | (桂)総合研究棟Ⅲ・R1棟新営 | (桂)総合研究棟Ⅲ(物理系)(軸)・R1棟(軸) |
| 農学研究科 | (北部)総合研究棟(フィールド・数研外)新営 | (北部)総合研究棟(フィールド・数研他) |
| 基礎物理学研究所 | 湯川記念館改修 | |
| 数理解析研究所 | (北部)総合研究棟(数理解析研究所)新営 | |
| フィールド科学研究教育センター | (北部)総合研究棟(フィールド科学研究教育研究社会連携棟新営) | |
| 人間・環境学研究科 総合人間学部 | 吉田南キャンパス図書館改修(一部増築) | (中央)総合人間学部図書館改修 |
| 人間・環境学研究科 総合人間学部 高等教育研究開発推進機構 | 吉田南総合館等耐震・内部改修 | (中央)吉田南総合館改修 |
| アジア・アフリカ地域研究研究科 | 総合教育研究棟新営及び東南アジア研究所北棟、南棟、旧京都織物本館の改修 | (南部)総合研究棟(A・A研他) |
| 東南アジア研究所 | | |
| 情報学研究科 | (桂)情報学研究科建物新営 | (桂)総合研究棟Ⅳ(情報系)(軸) |
| 宇治共通 | 宇治地区本館改修 | (宇治)生存基盤科学戦略研究棟改修(研究所本館) |
| | 生存基盤科学戦略研究棟新営 | (宇治)生存基盤科学戦略研究棟(軸) |
| | 附属図書館宇治分館、共同文献管理センター(仮称)、多目的知的情報国際プラザ(仮称)及びアカルティクラブに係る共同研究棟新営 | (宇治)メディア集合系整備(図書・知的国際プラザ) |
| | 基幹・環境整備(特高変電設備改修) | (宇治)基幹・環境整備(電力設備等) |
| | 基幹・環境整備(給水設備改修) | |

| 部局名 | 部局要求名称 | 事項名 |
|--------------|----------------------|------------------------------|
| ウイルス研究所 | ウイルス研究所本館改修 | (南部)生存基盤科学戦略研究棟改修(ライフサイエンス系) |
| 経済研究所 | 経済研究所本館及び旧図書館別館改修 | (中央)総合研究棟改修(経済研本館他) |
| 原子炉実験所 | コラボレーションリサーチ棟新営 | (熊取)アトムサイエンスコンソーシアム |
| | 研究棟を安全管理棟へ改修 | |
| 霊長類研究所 | 生存基盤科学戦略研究棟改修(研究所本館) | (犬山)総合研究所改修(霊長研本館) |
| 学術情報メディアセンター | 学術情報メディアセンター北館改修 | (中央)学術情報メディアセンター改修(センター北棟) |
| 留学生センター | キャンパスアメニティ(学生支援)整備事業 | (中央)キャンパスアメニティ(学生支援)整備事業 |
| 保健管理センター | 保健管理センター棟改修 | |
| 学生部 | キャンパスアメニティ(学生支援)整備事業 | |
| 研究・国際部 | キャンパスアメニティ(学生支援)整備事業 | |
| 施設・環境部 | (中央他)基幹・環境整備(5-1) | (中央他)基幹・環境整備(電力設備等) |
| | (柱)基幹・環境整備 | (柱)基幹・環境整備 |
| 研究・国際部 | 国際交流会館(宇治)家族棟新営 | (宇治)国際交流会館 |

【PFI事業(施設整備費)】

| 事項名 |
|-----------------------------|
| (南部)総合研究棟施設整備事業 |
| (柱)総合研究棟Ⅴ、(柱)福利・保健管理棟施設整備事業 |
| (北部)総合研究棟改修(農学部総合館)施設整備等事業 |

【営繕事業(施設整備費)】

| 部局名 | 事項名 |
|---------------|-----------------|
| 宇治共通 | 特高変電所外壁防水改修 |
| 放射性同位元素総合センター | 分館研究棟RI排気設備改修工事 |
| 低温物質科学研究センター | ヘリウム回収配管等基盤整備 |
| 施設・環境部 | (中央他)キャンパス環境整備 |

【病院特別医療機械整備費】

| 部局名 | 事項名 |
|---------|--------------------|
| 医学部附属病院 | 総合医療治療システム |
| 〃 | 診療支援高度生理機能検査総合システム |